



隊友会市川支部だより

Vol37 平成28年3月号



発行 隊友会市川支部
編集 支部長 永井 博



江戸川の土手から富士山を望む！

県隊友会 28年度事業計画 1次指示！

3月3日（木）、千葉市文化センターにおいて平成27年度後期理事役会及び支部長等会議が行われ、28年度事業計画等について審議しました。

◆河野会長（写真）挨拶の趣旨は以下の通りです。

- ①憲法改正が近々の課題であり、隊友会としても大きな関心をもって寄与していく。
- ②終身会員制の廃止に伴い財政の赤字の恐れもある中、会勢拡大に努力する必要がある。
- ③隊友会活動の主体は支部にあり、支部活動の活性化には会員相互の親睦を図ることが第一である。

◆27年度事業報告、28年度事業計画等について説明、質疑が行われたが、以下の2点について質問・確認した。事業計画の概要は「隊友千葉だより」を参照下さい。

○会員の減少とその要因について

26末	27入会	27退会	27逝去	27末
3236	65	36	54	3211

25名減少し、主な要因が高齢に伴う退会・逝去であることであり、支部の傾向も同様であることを確認した。

○会費、協力費納入について

支部として納入を督促し、会員抹消を防止するため、県本部に納入状況を随時通報していただくよう要望しました。

◆29年1月～2月頃、空自習志野分屯基地を研修会員のみならず地域の方々をお誘いのうえ参加下さい。

◆支部活動助成金として **33,080 円** を受領しました。

うち 60%は隊友新聞手配りによる助成であり、支部活動費となっております。



河野千葉県隊友会長



精山事務局長

北方領土返還要求全国大会に参加！

北方領土の日である2月7日、日比谷公会堂において、北方領土返還要求全国大会が開催され、永井支部長と弘田会員が参加しました。北方領土のと早期返還を求める固い決意が表明されましたが、以下のような所見を得ました。

○北方領土返還要求大会も続けるところに意義があると言えそうですが。これまでのスローガンである「島を追い出された人が帰りたい、帰してあげたい」では後10年もすれば使えなくなるでしょう。新しいスローガンを考えなくてはいけない時期に来ているのではないのでしょうか。

○岡本父兄会理事は、ソ連駐在武官だった時「領土と主張するなら何故力づくで取り返さないのだ」と言われたが、日本はあくまで平和的に返還を目指すと答えたと・・・。しかしながら、70年間追求してきたが何も変わらない作戦方針の見直しも必要ではないだろうか？



県隊友会ゴルフコンペ参加者募集

27年度、山本会員、山下会員、春日会員が参加し、念願の支部対抗の団体戦に参戦、6位入賞を果たしましたので、今年は団体優勝を狙いましょう。

◆日時 5月12日（木）

◆場所 ムーンレイクゴルフクラブ（市原コース）

◆細部は「隊友千葉だより」を参照下さい。

◆参加希望者は、支部長までメール又は電話、FAX、葉書（各自負担）にて、ご連絡下さい。



市川支部総会・懇親会のご案内

- ◆日時 5月29日(日) 1400～17:00
- ◆場所 パークシティ市川パーティールーム
市川市市川南3-12 (市川駅南口から10分)
- ◆会費 2,000円
- ◆来賓(予定)
千葉県隊友会会長、菌浦衆議院議員(特別会員)
猪口参議員議員(特別会員) 宇都参議員議員(特別会員)
金子市会議員(特別会員) 市川市父兄会会長
千葉協力本部市川募集事務所長 市川市防災官
- ◆参加可能な方は、支部長
までメール又は電話、
FAX、葉書(各自負担)
にて連絡下さい。
- ◆14時から総会、
15時から懇親会
(写真は今年の光景)



災害情報協力員に登録を!

災害発生時、支部会員がその所在地において、「災害時等における被災情報」等の地域情報を視認・聴取により収集し、電話・メール等の手段で松戸駐屯地に提供するものです。支部では表のとおり17名の方に登録していただき、28年度も継続させていただきます。新たに登録を希望される方、取消される方は、支部長までご連絡下さい。

市川南	永井 博 西村 寛之	南大野	山本 昇 高橋 勇行
菅野	相田 哲彦	高谷	天草 洋
八幡	山本 安正	二俣	鍬釣 重三 ☎
南八幡	野崎 忠義	原木	太田 肇
稻荷木	奥山 實 ☎		小平 節夫
曾谷	山口 康彦		弘田 雅数
北方	竹原 照夫	南行徳	重松 英夫
柏井	吉村 道弘	(注) ☎ : 電話による通報	



「隊友新聞」の手配り体制

平成21年から「隊友」の手配りを開始し、7年が経過しました。手配りは隊友会の財務悪化は正策として推奨されたものですが、実際にやってみると、顔の見える活動と情報の提供ができるようになったものと感じておりますので、引き続き継続していく所存です。現在9地区において手配りをお願いしておりますが、7年継続いただいている方が大半です。若い方のご協力を期待しております。



趣味のコーナー

重松英夫会員(陸:塩浜4丁目)
私は丁度一年前(27年3月)から透明水彩画を始めました。

永井支部長から趣味のコーナーを設けたので書くように依頼されましたが、古稀を過ぎて始めたばかりですので、未だ「しゅみ」に至らず「し」の段階です。

退官後、再就職及びボランティア活動を終え、何かをやりたい、やらねばと模索して来ましたが、若い頃の不完全燃焼の残り火が埋もれていたのか、居合いや弓道をやりたい、茶道もやりたいと思ってきましたが、肩の痛みがとれない、また膝が痛くなり正座が出来なくなったことから諦め、水彩画を選びました。

浦安市にある「中高年のための水彩画教室」の募集パンフに誘われて教室に飛び込みました。中年の方はいなく、私が一番若い高年の男性ばかりの少人数の教室でした。自宅で描いて作品を持って行き、先生の指導を受ける方式です。勿論先輩からも時々優しいアドバイスをいただいています。

高齢になって初心者が始めるのは、なかなか勇気が要りました。支部だよりに投稿すると、ここ当分は止める訳にはいかなくなるな、と自分にプレッシャーをかけ、恥を忍んで作品を紹介させていただきます。

奥入瀬溪流は、昨年11月(大きさはF6)、北富士・忍野八海は、今1月(大きさはF10)の作品です。



奥入瀬溪流



忍野八海

★寄稿のお願い

支部会員の90%の方が還暦を過ぎ、スポーツ、農園菜園、各種ボランティア活動など、様々な趣味の生活を謳歌されていると思います。このコーナーでは、それらを紹介して参ります。

地区別担当会員と対象数

*	全般	永井 博(陸・66)	各地区
1	市川・八幡地区	西村寛之(陸・73)	8名
2	大洲・新田地区	小野 健(海・66)	6名
3	曾谷・宮久保地区	関谷文男(陸・66)	6名
4	市川東部地区	竹原照夫(空・67)	14名
5	原木・高谷地区	天草 洋(陸・65)	11名
6	原木3丁目地区	太田 肇(海・73)	10名
7	妙典地区	上甲敏男(陸・84)	6名
8	行徳地区	井上賀世(陸・69)	7名
9	南行徳地区	重松英夫(陸・72)	11名

*氏名のかっこ内数字は年齢です。

*ボランティア保険に加入しています。

2月28日、グランドヒル市ヶ谷において東京都郷友会主催のシンポジウムが実施され、弘田会員が参加し、感想を寄せていただきました。講演者は以下の3氏でした。

- ・チベット出身 ペマ・ギャルポ氏
- ・ウイグル出身 イリハム・マハムティ氏
- ・内モンゴル出身 オルホノド・ダイチン氏

誇りある日本の再生をめざすシンポジウム参加感想

弘田雅数会員(陸:原木3丁目)



1. 3氏とも中華人民共和国政府に圧迫され続けている民族出身者だけに講演内容は詳細具体的であり、中華人民共和国の少数民族に対する傲慢な扱いがよくわかった。(たとえば中華人民共和国成立直後チベットに侵入した軍は我々は仏教の守護者であると宣伝してチベット人を安心させて入り込み、時期を見て弾圧に転じた)
2. 3氏とも日本での生活が長いわけであるが、現在の日本に対する警告として次の点を上げた。
 - ①言葉を大切にしないと民族は危機に瀕する。日本に来たときには「おかげさまで」という言葉をよく聞いた。素晴らしい言葉だと思ったが最近は聞かなくなった。
 - ②国旗国歌を大切にしない民族は見たことがない。国家を歌うときに起立しないことが容認される国は私は知らない。
 - ③現在のチベットのような状況を作ったのは我々チベット人にも責任がある。中国共産党軍がチベットに侵攻した時チベットにはほとんど軍隊はなかった。しかし平和の祈りをささげる若い僧侶は27万人いたが、2万の中国共産党軍に手も足も出せなかった。
 - ④現在日本は「戦前の日本は中国に悪いことをした」としてひたすら謝っている。しかしこんなことをしていたらチベット・ウイグル・内モンゴルのように侵略を受けいつの間にか中華人民共和国に組み込まれることになる。よく歴史を勉強して反論すべきだ。沖縄独立問題が現に起きてきているのではないか。
 - ⑤日本は大きい戦略をたてて国家を運営していないように感じる。中華人民共和国は着実に実施している。その一つの例として外国人留学生の質がある。人数だけを増やせばよいとの考えでやっているように感じる。留学生が将来その国を背負っていく人材になるのかどうか見極める必要がある。将来の日本にとっても有為な人材を選別すべきでないか。(弘田注; ペマ氏は桐蔭横浜大学の教授であり外国人留学生を直接見ておられる感想と推測する)
3. シンポジウム全体の感想
 - ①最近の中華人民共和国の100年の200年も前の帝国主義を彷彿とさせる国際法を無視した行動は何も今始まったことではなく中国共産党成立以来のことだと改めて認識をした。今日本が対抗処置を真剣に講じなければやがてはチベット、ウイグルそして内モンゴルのような困難な立場になる危機感を覚えた。
 - ②参加者は約100名であったが、70歳代以上の高齢者が多く、60歳代前後の人たちがあまり見受けられなかったのはさびしい感じがした。
 - ③受付、会場設営またシンポジウムの内容、時間管理どれも申し分ないと思った。

隣国中国の民族事情について

市川支部会員(海)

1. 多民族国家

中国は56の民族からなる多民族国家です。代表的な民族は次のとおりで、各民族は固有の歴史と文化を持っています。

- ・人口の9割以上を占める漢族
- ・約1600万人のチワン族
- ・清王朝を興した満族
- ・元王朝を興したモンゴル族
- ・ダライ・ラマを輩出したチベット族
- ・トルコ系でイスラム教を信仰するウイグル族
- ・長い歴史を有し中国南部に住むミャオ族
- ・白人系でロシアに起源を持つオロス族

*紙幣には共通語のほか、モンゴル語、チベット語、ウイグル語、チワン語が使用されています。

2. 自治区の設置

少数民族の文化や習慣などの独自性を尊重する観点から、省と同格の民族自治区を5つ設置しています。

これら5つの自治区では、外交や安全保障を除き、様々な権限が認められています。

- ・内モンゴル自治区
- ・寧夏回族自治区
- ・新疆ウイグル自治区
- ・チベット自治区
- ・広西チワン自治区

3. 優遇策と同化施策

農業助成金や大学進学への配慮など、少数民族は漢族と比して民族毎にいろいろな優遇策を甘受できます。ただし、優遇策は漢族への同化施策と一体化したところもあって、独立志向の強い民族にとっては、摩擦の原因となっています。特に、中国政府との紛争が多いウイグル族とチベット族では、その傾向が強くなっています。



隊友会歌 ああこの血潮

作詞 鈴木井(きよし)
作曲 古関裕而

- 1 ああこの血潮 この生命 うけたはるかな 故郷に 幸あれと 肩くみて
呼べば答える 山脈(やまなみ)の 雲は流れる 陽がのぼる
- 2 桜も咲けば 菊も咲く みどりに映える 山河に そびえる富士を仰ぎ見て
手に手をとって 行く道に はばたく鳩が 共に舞う
- 3 南と北の 島々に 新たなる息吹 あがるとき おれとお前の隊友が
船出の歌を 高らかに 歌えば四方の 波静か

(昭和49年制定)


二俣官舎閉鎖！

太田会員（海：原木3丁目）

よくご存知のように、二俣国設宿舎は30棟ある大型宿舎で、都心に近いこともあり、かつて入居していた会員も多いことと思いますが、現在は住民も全員退去し、完全な空き家状態で、さらに先の水道メーター盗難事件の影響もあってか、周囲は閉鎖され立入禁止になっており、各棟の1階部分の出入口や窓はベニヤ板が張り付けられて塞がれています。

市議会では、跡地を物流基地に（？）という論議もあるやに聞いていますが、いずれにしても、以前の賑やかだった情景を思い起こすと、時代の変遷を実感させられる光景です。



昭和57年二俣官舎にて（提供：永井）

憲法改正1千万人署名への協力

支部だより11月号において依頼いたしましたが、半年前の目標達成率は表の通りであり、千葉県隊友会は51の団体内で46位と低い状況です。

	隊友会名	目標数	会員数	署名数	達成率
1	島根	3,700	587	2,456	66.4%
2	和歌山	1,300	204	585	45.0%
3	鳥取	3,200	508	1,306	40.8%
46	千葉	20,800	3,259	306	1.5%
	計	500,000	78,309	49,369	9.9%

隊友会を通じての署名送付はメールでの依頼野とおり、3月31日をもって終了しておりますので、「美しい日本の憲法をつくる国民の会」への署名協力をお願い致します。

次のURLにアクセスし、
<https://kenpou1000.org/>

次のいずれかの方法で賛同署名をお願いします。

- このサイトで賛同署名をする。
- 「賛同署名」用紙のPDFファイルをダウンロードして活用して下さい。



国民の会代表の櫻井良子氏

特別会員金子市議会議員総会に参加！

27年11月23日、市川グランドホテルにおいて特別会員、金子正市川市議会議員の講演会総会が行われ、支部を代表して竹原副会長が参加、意見交換しました。金子議員は、毎年11月23日（勤労感謝の日：新嘗祭）に本会を行っており、父兄会と共に参加しています。



新入会会員紹介

金井 泉寿 会員 S28生、市川市大和田2丁目
最終勤務部隊：陸自基礎情報隊（市ヶ谷）
（注）基礎情報隊は、市ヶ谷駐屯地に駐屯している、
陸上自衛隊中央情報隊直轄の情報専門部隊

4～5月の行事予定

◆海自下総基地観桜会

3月25日（金）

山口会員が支部を代表して参加



◆千葉県護國神社ご奉仕

4月9日（土）清掃：相田会員が参加予定

4月10日（日）車両統制

申込期限を過ぎていますが、参加可能な方は支部長までご連絡下さい。

ボランティア保険加入を申請いたします。

◆県隊友会 通常総会・表彰式・懇親会

4月20日（水）三井ガーデンホテル

支部代理人として永井支部長・竹原副支部長が参加。

（注）代理人は会員50名につき1名。支部から2名。懇親会参加を希望される方は支部長までご連絡下さい。

◆県隊友会主催防衛講演会

5月9日（月）18時30分～

講師 宇都隆史参議院議員

場所 千葉市民会館 大ホール

細部は「隊友千葉だより」参照

申込は不要ですが、県本部に

参加数報告のため、参加可能

な方は、4月末までに支部長宛ご連絡下さい。



◆県隊友会ゴルフコンペ

5月12日（木）記載記事のとおり

◆市川支部総会・懇親会

5月15日（日）記載記事のとおり